



大田区立馬込第二小学校

学校だより

令和六年度 九月号

家庭数配布

目標への情熱・たゆまぬ努力

校長 山崎 宏則

今夏を振り返ると、パリオリンピック二〇二四での日本人選手の大活躍が思い出されます。日本は、前回の東京オリンピックに次ぐ金20銀12銅13という素晴らしい成果を残し、猛暑続きの中、応援している私たちに大きな夢と感動を与えてくれました。

メダルを獲得した後の、アスリートたちのインタビューは印象的でした。柔道男子66キロ級の阿部一二三選手曰く「練習をどんなにこなしても不安は消えなかった。五輪の舞台で練習してきたことを出せたのは、これからの自信になる。」スケートボード男子ストリートの堀米雄斗選手曰く「常に限界まで練習して追い込んでいた。最後まで自分を信じてやってこられた。」体操男子団体総合、鉄棒の橋本大輝選手曰く「この3年間、悔しい思いをもって戦ってきたので、重い金メダルだと感じた。」その一言一言が、これまで地道に練習を重ねた努力の結果であることがひしひしと伝わる、本物が発する本物の言葉であると感じました。

これまでに練習してきた成果を出し、頂点に輝いた選手がいる一方で、準備してきた以上の実力を発揮できずに終わった選手もいました。女子100メートルバタ

フライの池江璃花子選手は、涙を流しながら「がんばってきたことは無駄だったのかな。」という言葉を残しました。その背後には、白血病との戦い、闘病後の血の滲むような努力、周囲の期待等々、私たちの想像を遙かに超えた処にある、すべてを言い表すには足りない忸怩たる思いがあったことは、想像に難くありません。

私たちは、その人生を賭けたと言っても過言ではない尊いアスリートの姿や言葉から、多くのことを学ばせてもらいました。困難な目標への情熱とそれを達成させるための粘り強さは「グリット」という非認知能力の一つとして知られています。学校教育においても、各学期はじめや学校行事に取り組み前には、個々の目標を掲げ、目標達成のために取り組む具体的な方策を明らかにして「キャリアパスポート」に記載します。目の前に立ちほだかる困難に遭遇しても、努力を継続し、繰り返し取り組むことで自己目標に一歩ずつ近づいていく成功体験を重視しています。

また、過酷な環境やストレスフルな状況等の逆境に直面した際に、衝撃を和らげたり衝撃から回復し状況に適応したりしていく力を「レジリエンス」といい、逆境をしながら生きていく力として注目されています。学校教育では、失敗から学ぶことも大切にしています。すべての物事がうまくいくように大人が道筋を作ってやるのが子どもたちにとって最善の策であるとは思いません。友達と共に考え、試行錯誤する様々な体験を通して諦めずにやり続けた経験は、失敗も成功も両方含め、必ずや今後の大きな成長に繋がっていくはずで

これからの予測不能の未来を背負って立つたくましい子どもたちの育成には、オリンピッククアリートの如く、子どもたちなりに「目標への情熱、たゆまぬ努力」を大切にすることが今まで以上に求められるのかもしれない。二学期のスタートです。今学期も変わらぬご理解ご協力をどうぞよろしくお願いたします。

水泳指導・夏季水泳指導について

水泳指導担当

今年度は、六月から各学年計四回程度の水泳指導を実施しました。

近年、悪天候以外に、天気が良くても気温や水温、暑さ指数が高すぎて、プールに入れないという日が増えてきています。どの学年の子も、今日はプールに入れるかどうか毎回気を揉み、入れた時には思いっきり水泳の学習を楽しんでいました。いかにもプール日和というような暑い日に、子どもたちをプールに入らせてあげられないことはとても心苦しかったです。小まめに水分補給をしながら、熱中症に気を付けて、安全に、楽しく学習を進めてきました。

低学年は、「水遊び」の学習で、水の中で歩いたり走ったりすることや息を止めたり吐いたりしながら水にもぐったり浮いたりしました。

中学年は、「浮く・泳ぐ運動」の学習で、いろいろなもぐり方や浮き方、け伸びなどの初歩的な泳ぎの学習をしました。

高学年は、「水泳」の学習で、背浮き、長い時間の浮き沈み、クロールや平泳ぎをしました。

どの学年でも、一人ひとり課題を見付けて、楽しく学習に取り組むことができました。

夏になると、水の事故の報道をよく目にします。回数は少ないですが、学校の水泳授業が水に慣れ親しんだり、泳ぎ方を身に付けたりする機会になり、学校外でも安全に、海やプールでの遊びを楽しんでほしいと思います。



わくわくスクールの様子

七月一日(月)〜三日(水)とうぶ移動教室があり、六年生が長野県東御市にある休養村とうぶにきました。

一日目は、東籬ノ登山を登山する予定でしたが、直前までの雨により、池の平湿原の散策コースに変更しました。池の平に到着すると、それまで降っていた雨も止み、緑豊かな景色を見ることができました。休養村とうぶに着き、夜は古民家レクで大いに盛り上がりました。

二日目は、長野県立歴史館・森將軍塚古墳館へ見学に行きました。歴史の学習で学んだことを思い出しながら展示物を見ることが更に学びを深めることができました。その後、森將軍塚古墳にも行き、古墳からの景色や古墳の周りにある埴輪を見ることができ、充実した時間となりました。午後は、休養村とうぶでもものづくり体験をしました。東御市の名産であるくるみ細工や竹紙体験、野つる工芸、機織り体験などに挑戦し、自分らしい作品を作ろうと工夫を重ねていました。夜のキャンプファイヤーでは、係の考えたゲームや踊りをみんなで楽しめました。みんなで過ごした楽しい時間は忘れられない思い出になったようです。

三日目には、長野県小諸市にある松井農園でニジマス釣りやブルーベリー狩りを体験してきました。初めて釣りをする子が多かったですが、自分で釣ったニジマスを美味しくいただきました。

二泊三日、子どもたちは普段の学校生活では、経験できないことが多かった三日間となり、友達と一緒に楽しそうに過ごしていました。
移動教室で学んだ「友達と協力することの大切さ」や「周りを見て行動することの大切さ」を、普段の学校生活でも生かしてほしいと思います。

9月の生活目標

時間やチャイムの合図をしっかりと守ろう



9月の予定

日	曜日	算数補習教室 ↓	
1	日		
2	月	特別時程 始業式 引き取り訓練	
3	火	給食開始	
4	水	特別時程 水曜日 5時間授業開始 (2-6)	
5	木	お話し会 交通安全教室 (2・5) 発育測定 (6)	
6	金	社会科見学 (4) 発育測定 (5) 5時間授業 (6) 部活動体験 15:00-16:00 (6)	
7	土		
8	日		
9	月	全校朝会 委員会 発育測定 (4)	
10	火	発育測定 (3・若)	5, 6
11	水	安全指導 発育測定 (2)	
12	木	発育測定 (1)	3, 4
13	金		
14	土		
15	日		
16	月	敬老の日	
17	火		5, 6
18	水	児童集会	
19	木	なかよし班活動	3, 4
20	金		
21	土		
22	日		
23	月	秋分の日	
24	火		5, 6
25	水	音楽朝会	
26	木	連合運動会 (若竹)	3, 4
27	金	身体障害体験 (4)	
28	土		
29	日		
30	月	学年朝会 クラブ活動 心のパリアフリー (4)	

とうぶ移動教室の様子



本校での自己評価報告書(令和六年度)を、近日中にホームページに公開いたします。

スクールカウンセラー来校日

お気軽にご相談ください。
担任、養護教諭、または、スクール
カウンセラー専用携帯電話

080-5977-6167

へ相談予約をお願いします。

K・Y(木)	S・T(金)	相談時間
5日	6日	9:00~16:00
12日	13日	9:00~16:00
19日	20日	9:00~16:00
26日	27日	9:00~16:00